

<b>授業科目名</b>	基礎看護技術演習 (2300302)		
<b>時間割名</b>	基礎看護技術演習 (13202)		
<b>時間割担当</b>	吉村雅世		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	月・3～4		

### 授業の目標・概要

看護技術の本質や修得する過程を理解し、看護を学ぶ者において共通するコミュニケーション技術、感染を予防する技術、環境を調整する技術、バイタルサインを観察する技術など、看護技術に共通する基本的な援助技術に関する知識、技術、態度について学習する。

実践にあたっては、科学的根拠に基づいた技術の展開ができる力を養うことを目的とする。

### 学習の到達目標

- 1) 基本的な援助技術の学習を通して、その根拠となる原理・原則について理解する。
- 2) 看護援助を必要とする人とその日常生活について考察する。
- 3) 基本的な援助技術を安全・安楽に実施する方法を習得する。
- 4) 原理に基づいた援助をさらに発展させることのできる基本的思考を養う。

### 授業方法・形式

講義と演習

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス・看護援助技術とは
- 第2回 コミュニケーション技術(講義)
- 第3回 コミュニケーション技術(演習)
- 第4回 コミュニケーション技術(演習)
- 第5回 看護実践を保証する技術(講義)
- 第6回 看護実践を保証する技術(講義)
- 第7回 安全を守る技術(講義)
- 第8回 安全を守る技術(演習)
- 第9回 安全を守る技術(技術試験)
- 第10回 ボディメカニクス(講義)
- 第11回 ボディメカニクス(演習)
- 第12回 ボディメカニクス(技術試験)
- 第13回 安全・安楽を提供する技術(講義)
- 第14回 安全・安楽を提供する技術(演習)
- 第15回 安全・安楽を提供する技術(演習)
- 第16回 環境を調整する技術(講義)
- 第17回 環境を調整する技術(講義)
- 第18回 ベッドメイキング(演習)
- 第19回 ベッドメイキング(演習)
- 第20回 健康を評価する技術(講義)
- 第21回 健康を評価する技術(演習)
- 第22回 健康を評価する技術(講義)
- 第23回 健康を評価する技術(演習)
- 第24回 健康を評価する技術(演習)
- 第25回 健康を評価する技術(講義)
- 第26回 健康を評価する技術(演習)
- 第27回 健康を評価する技術(演習)
- 第28回 総合演習
- 第29回 総合演習
- 第30回 まとめ

### 成績評価の基準

定期試験(筆記・実技試験)50%, 課題レポート30%, 学習態度(取り組みの積極性・グループワークへの参加度)20%

### 授業時間外の課題

技術とは知識、技能、態度の3つから構成されると言われ、この3つを統合していくことは大変重要です。また各単元は、密接に関連しており、学習の積み重ねが到達度を高めることとなりますので、欠席しないで、積極的に、かつ自主的に自己学習を反復、発展させ学習に取り組んでください。

### メッセージ

講義時間内にお伝えします。

## 教材・教科書

### テキスト

1. 茂野香おる系統看護学講座
2. 基礎看護技術 ， ，第15版，医学書院，2013.
3. 坂本史衣：基礎から学ぶ医療関連感染対策，改訂第2版，南江堂，2012.
4. 小野田千枝子監修，高橋照子，芳賀佐和子編集：実践!フィジカル・アセスメント 看護者としての基礎技術，第3版，金原出版，2008.

## 参考書

### 参考書

1. 吉田みつ子他：写真でわかる基礎看護技術，インターメディカ，2012.
  2. 香春知永他：基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する，南江堂，2011.
- その他，授業中に紹介する。